（別紙５）

児童 における自己評価結果

事業所名	こどもくらぶ ガジェマール

出席日　　年　月　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	調査内容をすべき点
環境・体制整備	1	利用定員が事業者全体の人数や設備等に適切であるか。	6	2		適切であると認識しております
	2	利用定員やこどもの特性等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		適切に配置しております
	3	支援開始は、こどもにわかりやすく事前に示され支援になっているか。また、事業所の体制整備は、障害の特性に応じ、バリアフリーや情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。	4	4		特性、対象の児童はわかりやすいが、定員児童が適切かの判断には、事前に職員や環境を確認したうえ、検討していく必要があると認識しております。
	4	支援開始は、適宜で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた物理となっているか。	8	0	不適切やイス取り競争を防ぐ、個別環境や着席を確認して実施しております。また、予定スペースと実施スペースをHPで公表のうえ周知しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の配慮や場所等を使用することが活められる環境になっているか。	8	0		
職員の資質の向上	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		職員の認識不足が考えられる点、今後定期的な学習会を設け、外部講師を招聘する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容や業務改善に つなげているか。	8	0		
	8	職員の個別等を把握する機会を設けており、その内容や業務改善につなげているか。	6	2		
	9	個々職による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		管理者や取締役等より評価を頂き、業務改善に努めております
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会が確保されるなど研修を実施する機会が確保されているか。	7	1		職員も増えてきており、研修機会を確保していきたいと予定です
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	保育士・理学療法士・言語聴法士による、専門的な観点等をもとに支援を行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、支援目標や内容・支援計画等を適切に設定しているか。	7	1		
	13	支援目標やサービス内容が複数ある場合において、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員や外部の専門家等の意見や、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	ご利用者様の楽しい体験重視で、定期的に子ども会議を開催しております。	
	14	支援目標やサービス計画が職員間に共有されず、計画に沿った支援が行われていないか。	8	0		
	15	こどもや保護者に対する一方的な支援にならないよう、定期的にモニタリングやこどもや保護者の意向の把握などの機会を設けているか。また、支援開始後、一定期間ごとに支援目標や支援内容の定期的な見直しを行っているか。	6	2	入園や面接の際や日常、アセスメントの更新しております	
	16	支援目標及び支援内容について、保護者にわかりやすく説明し、同意を得ているか。また、支援目標や支援内容を変更する場合は、変更に関する説明と同意を得ているか。	8	0	本人や保護者の同行時・希望・思い作成前、面談時など保護者意向を確認のうえ作成、説明や変更時も同様に行っております	
	17	支援プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	職員一人一人の個別特性含む、支援プログラムに組み込んでいます	
	18	支援プログラムが固定化しないようにされているか。	7	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別支援と集団支援を適切に組み合わせた支援を行っているか。また、支援が行われているか。	6	2		個々の成長に合わせ、バランスよく支援を提供していますが、さらなる充実を図れるよう、計画作成に努めてまいります。
	20	支援開始前に活動内容や役割分担等について、それぞれの担当者以外の職員も含めた全体で把握しているか。	7	1		
	21	活動プログラムが固定的にならないよう、児童や保護者の意向等を定期的に把握するなど、利用者の状況に応じた適切な支援プログラムの作成に努めているか。	8	0	新規時に保護者の方に振り返りの機会を、面談のスケートーティングで聞き取りしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	活動がセミロテリンプセリ、放課後等デイサービスが適切に設定したり、個別支援を実施し、適切な環境を作っているか。	8	0	職員全員で検討し、必要に応じて指導や声かけ、より良い活動に取り組んでいる事が大切と認識しております	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を踏まえた内容となっているか。	7	1		
	25	こどもや保護者にとってあまりなじみ感のない支援の内容が行われていないか。活動プログラムの立案をする際に、こどもや保護者の意向が十分に反映されているか。	8	0	職員も楽しくなりたい！と、定期的なゲスト講師を開催し、子どもの心遊び・多文化理解などの機会としています。	
	26	児童が相互に良好な関係を築けるよう、障害の特性に応じた支援について、職員間で共有しているか。	7	1	定期的にではなく、その日一番良く思っている職員を記録しています	
	27	活動の組織、指導（支援等や提供環境確認）、環境構成等、職員間の役割分担は適切か。また、会議や打合せ時間を持っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	28	学校との関係や、「放課後型」・「学齢期後の支援」・こどもの下校時刻や施設型」・「通園施設（通園時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	連携方法だけでなく、日頃の状況時にも初めの共有・対応の有方と情報共有にも努めています	
	29	就学に利用している医療等や福祉施設、児童センター施設、児童等発達支援事業所などの関係機関と定めているか。	8	0		
	30	学校等訪問し、放課後等デイサービスから保護者説明サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を適切に引き継いでいるか。	7	1		保育会で対象のご利用者はいませんが今後、そのような少ケースが出てきた場合は、必要に応じて連携を図りたく予定です
	31	児童が児童発達支援センターの場合を除き、必要に応じて、インクルーシブの観点や障害児を受け入れ体制を図っているか。	7	1		
インクルージョン	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0		
	33	（対応支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		エリアマネージャーが参加しております。
	34	日頃からこどもの状況や課題等に伝えあい、こどもの保護の方法や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	障害の特性の内容と年齢や概念から、障害に対して障害支援プログラム、ケアレント・トレーニング等）や障害等の理解とある保護の構築や情報提供等を行っているか。	5	3		
保護者への説明責任等	36	通信発信、会報プログラム、利用者向け説明について工夫や説明を行っているか。	7	1	ご説明していない方々に説明を行い、ご不明な点があった際には、丁寧にご説明し納得して頂いております	
	37	保護者やサービス内容の変更等を行う際に、こどもや保護者の意向や意見を聞き入れるなど、こどもや保護者の理解や意向を尊重する機会を設けているか。また、その際の説明や情報提供等を行っているか。	6	2		事前に確外取り組。お電話にあいさつ等、お電話にあいさつ等、お電話にあいさつ等、